

牛トレーサビリティ制度

あなたも牛肉について調べてみませんか？

牛トレーサビリティ制度

～どこで生まれて、どこで育った牛なのかがわかります～

我が国において牛海綿状脳症(BSE)が発生したことを受け、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法(牛トレーサビリティ法)が制定されました。

この法律では、耳標の装着、牛の出生などの届出、出生から牛肉になるまでの履歴の記録・保存、記録した情報のインターネットでの公表などが定められています。



どこで育った牛の牛肉なのかを確認できます。

牛の個体識別番号

牛の個体識別番号は、10ケタの数字で表示され、1頭の牛ごとに1つの番号が割り振られます。牛が生まれたり、牛を輸入した場合、個体識別番号が表示された耳標を両耳に装着します。



生涯唯一の番号でいわば牛のマイナンバーです。

①スーパーマーケットや精肉店などで10ケタの個体識別番号を確認しましょう。

個体識別番号の表示例



青森県産 黒毛和牛モモステーキ用

消費期限	2016.9.23	個体識別番号	1389725782
加熱後お召し上がり下さい		本体価格(円)	747
保存温度4℃以下		100g当り(円)	498
		正味量(g)	150
		お値段(円)	806

加工者 ○○畜産(株)
○○県△△△市□□□町○-○○

②家畜改良センターホームページの「牛の個体識別情報検索サービス」へアクセスし、個体識別番号を入力して検索しましょう。

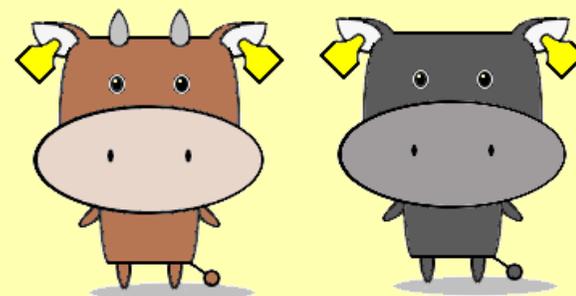
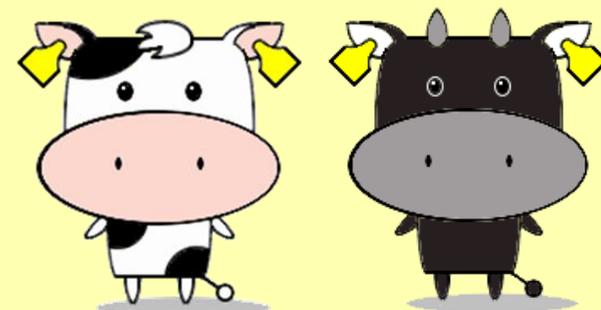


日本の食卓、改良と技術で守ります
～小さなタネから 大きなウシまで～

発行：独立行政法人 家畜改良センター
個体識別部
お問い合わせ先：0248-48-0596
E-mail：id@nlbc.go.jp

※写真、イラストは全てイメージです。

平成29年3月



独立行政法人 家畜改良センター

牛の情報の検索方法

牛トレーサビリティ制度における 家畜改良センターの役割

①「牛の個体識別情報検索サービス」ホームページにアクセスし、「個体識別番号の検索」をクリックして同意確認後、10ケタの数字を入力して検索ボタンをクリックしてください。

日本で飼われているすべての牛の情報を記録・管理して、その情報をインターネットで公表しています。

牛の個体識別
検索

<https://www.id.nlbc.go.jp/>







トップページの「個体識別番号の検索」をクリック

同意確認後、10ケタの数字を入力して「検索」ボタンをクリック

②検索した牛の情報（誕生日、性別、品種、飼養地等）が確認できます。

牛の個体識別情報

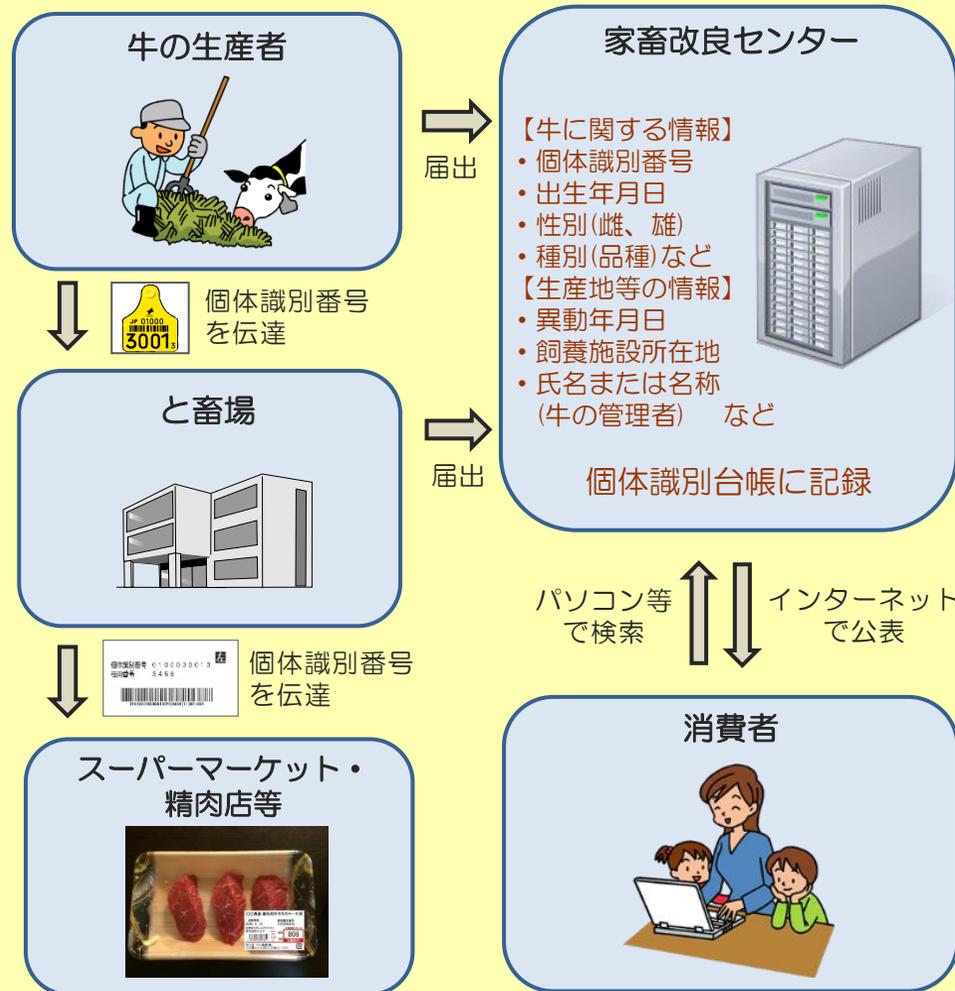
出生の年月日・雌雄の別・母牛の個体識別番号
種別（品種）・飼養場所の履歴

検索

2016年09月26日 09時現在

【個体情報】				
個体識別番号	出生の年月日	雌雄の別	母牛の個体識別番号	種別
1012345678	2014.05.15	メス	1087654320	黒毛和種

【異動情報】				
異動内容	異動年月日	飼養施設所在地		氏名または名称
		都道府県	市区町村	
1 出生	2014.05.15	〇〇県	□□町	個体 太郎
2 転出	2016.08.22	〇〇県	□□町	個体 太郎
3 搬入	2016.08.22	△△県	〇〇市	△△県食肉市場（株）
4 搬出	2016.08.23	△△県	〇〇市	△△県食肉市場（株）
5 搬入	2016.08.23	△△県	〇〇市	□□食肉センター
6 と畜	2016.08.23	△△県	〇〇市	□□食肉センター



生まれてから牛肉になるまで、牛の一生がわかります。

国産牛肉の信頼性確保に貢献しています。